

「みんなであつこり楽しいお買い物ツアー Part 2」 に参加しませんか？

村では、介護予防につなげることを目的に、高齢者が気軽に外出し、仲間と共に買い物や昼食、おしゃべりを楽しむツアーを開催します。この機会にぜひご参加ください。



対象▼村内に住所を有する65歳以上で、自力で歩行や買い物ができる方

定員▼各コースとも5人(先着)

申込期間▼6月1日(月)～5日(金)

内容▼自宅から買い物や昼食の店舗をめぐる送迎付きのツアー

その他▼▽買い物代や昼食代は自己負担となります。▽一度に複数のコースを申し込むことはできません。

申し込み・問い合わせ▼電話(氏名・住所・電話番号・参加希望日)で地域福祉課高齢支援担当(☎282-1711 内線1134)へ申し込みください。

【6月の実施日・コース】

期日	買い物(10:30～12:15)	昼食(12:30～14:00)
6/10(水)	イオン東海店、ウエルシア東海舟石川店	ケーキ&カフェ工房ルアール
6/17(水)	カスミフードスクエア東海中央店、ドラッグストアマツモトキヨシ東海店	三河屋
6/24(水)	ヨークベニマル東海店、ツルハドラッグ東海中央店	うどん市村松店

真冬のカゴタケ

ふるさと歴史訪 ー自然を探してー

年明け早々の今年1月、村内在住の方から、村内でカゴタケというキノコが発生しているとの情報を教えていただきました。さつそく現場に向かうと、コナラ、イヌシデ、ヤマザクラなどの落葉広葉樹からなる林内の斜面に、白色からクリーム色で、卵型、直径7センチメートル程度に達するキノコがいくつかが発生しているのを観察できました。

卵型のキノコの表面には亀裂があるものもあり、亀裂部分を指でたたいたり水で湿らせてみたりすると亀裂が開き、内部からは網目を伴い白色からクリーム色を帯びる、かご型の部分が現れました。かご型の部分は直径10センチメートル程度に達し、6個から12個程度の網目からなり、サツカーポールのようでもあります。かご型の部分は「托枝」と呼ばれる構造で、表面には暗緑色で果実臭のある粘液状の胞子塊を付着させます。果実臭と書きましたが、もつと人工的な甘味料、あるいは清涼飲料水のような香りにも感じました。



【雑木林の斜面に生えたカゴタケ(村松にて)】

さて、カゴタケの托枝はプラスチックストローのように固くしなやかな触感で、中空である点もストローに似ています。キノコらしくない見た目や触感のカゴタケですが、その生態も興味深いものです。カゴタケの胞子塊は甘い独特の香りを発します。香りが昆虫を誘引し、虫に食べられることで胞子を分散させる、という戦略ならば、真冬の1月にキノコが発生するのは非常に不思議です。

真冬の1月にはハエもハチも飛んでおらず、多くの昆虫は冬眠しています。そのような時期にキノコを生やし、しかも独特の香りを放つカゴタケは、何に対してその存在をアピールしているのでしょうか。もしかしたら、冬でも活動するタヌキやハクビシン、キジバトやヒヨドリといった動物たちに、自らの存在を訴えかけているかもしれない。なお、カゴタケは全国に分布しますが、発生が少ないまれなキノコです。県内では筑波山などで採集されていますが、村内では初めての記録です。

慶應義塾大学教授

糟谷 大河